

平成26年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

| | | | | | |
|-------|----------------|-----|---------------|---------------------|----------------|
| 開催年月日 | 平成26年11月29日(土) | | 会場名 | クロスランドおやべ セレナホール | |
| 開始時刻 | 午後7時 | | 終了時刻 | 午後8時30分 | |
| 参加者数 | 男 | 29人 | 女 | 8人 | 合計 37人 |
| 出席議員 | 宮西 佐作 | | 砂田 喜昭 | | 尾山 喜次 |
| | 嶋田 幸恵 | | 石田 義弘 (議長) | | 中田 正樹 |
| | 白井 中 | | 藤本 雅明 | | 吉田 康弘 (副議長) |
| | 加藤 幸雄 | | 山室 秀隆 | | 中野留美子 |
| 司会進行 | 吉田 康弘 (副議長) | | 記録 | 議会事務局 | |

議会報告会での質疑・意見とその回答

| 質疑・意見の要旨 | 議員回答要旨 |
|--|---|
| <p>・土砂災害区域の指定について 平成23年に土砂災害警戒区域に指定され、看板が立てられた。議会だよりには、行政が住民にしっかり説明して指定を行っているとして書いてあるが、看板を立てただけで、説明してもらっていない。住民としては不安になっただけで、解決になっていない。住民の周知徹底とはどういうことを言うのか。紙一枚または看板に書いたことが周知なのか。説明して、住民が理解することが周知なのか。見解を伺いたい。</p> | <p>土砂災害や土石流災害により、人命や財産に大きな危険が及ぶ可能性があるということをあらかじめ伝えるという趣旨の看板である。 市では土砂災害ハザードマップや洪水ハザードマップを作成している。市としてどういう状況かということをもとに一緒に検証しながら、危機感を共有するということが、市民全体で認識し、市も議会も一生懸命対策をとっていきたくて考えている。市民をいろいろな面から守っていくことが最優先だと考えているので、ご理解いただきたい。</p> |
| <p>・政務活動費について 政務活動費の用途基準に按分の考え方がある。公金を扱うところに、按分の考え方はいけないと思う。按分の考え方を削るように要望する。</p> | <p>政務活動費は税金なので、しっかり使っているのかというご意見は当然だと思う。按分の考え方は導入しているが、最近適用している例は少ない。運用については、領収書を添付して公開しており、疑惑を持たれないようにしている。按分の考え方についても今後検討していきたい。</p> |
| <p>・保育所・小学校の統廃合について 以前、保育所の統廃合という話があったが、うやむやになったのはどうしてか。非常に人数の少ない保育所もある。小学校の統廃合もうやむやになった。それはどうしてか。</p> | <p>統廃合審議会では答申が出ていた。統廃合と民営化に向けて進むという2点の方向性が出ていたと思う。民営化については石動西部と津沢で、統廃合については大谷と蟹谷であったと思う。大谷校下で統合ということで多額の寄附という話もあったが、それもなくなり財政的な裏付けがないので統合がなくなった。今現在そういう話はないと思う。 小学校についても、耐震等をやっているということで、今のところ小学校の統廃合は考えていないという形である。</p> |
| <p>・議員定数について 今回の選挙は無投票であり、週刊誌で叩かれた。今後、問題が発生すると思う。議員の定数削減についてどのように考えているのか。</p> | <p>無投票というのは今回初めてであった。議員の魅力が薄れているのか、若い人で議員として頑張っていこうという人が少ないのか、今後とも皆さんと意見を交わしていくべきだと思っている。定数については、平成6年から20人、平成18年から17人、平成22年から16人と定数を削減してきた。 無投票の結果、定数削減について市民の皆さんから意見をいただきたいと思っているし、また議員の質を上げることで皆さんの期待に応えていきたい。4年後どうなるかわからないが、議員として頑張りたいという人が増えるように見本となるよう頑張っていくので、ご支援・ご協力をお願いしたい。</p> |

議会報告会での質疑・意見とその回答

| 質疑・意見の要旨 | 議員回答要旨 |
|---|--|
| <p>・先進地視察について 人口対策については、育児支援も大切であるが、結婚する人がいないと子どもが産まれないので、ここ数年、結婚するように一生懸命施策をしていただいているところである。 先日、テレビ番組で、富山県舟橋村・石川県川北町が人口が増加している自治体として出ていた。 先進地視察をしてきたということで、今後事業を検討すると思うのだが、先進地ではどういう対策をとっていたのか教えてほしい。</p> | <p>国の施策を勉強するという事で東京都霞ヶ関へ、そして山梨県に視察に行ってきた。特別委員会は、設置から日も浅く、現時点では委員会としての結論は出ていないが、今後の委員会で検討して、前に向いて進んでいきたい。 川北町は子育て支援で、舟橋村は駅周辺の図書館等が充実しているということで人口が増えている。子育て支援において、小矢部市は県内トップを走ってきたと思っているが、それでも人口が増えないのは、どこに原因があるのか。特別委員会を設置したところであり、先進地の情報を得ながら検討し、なるべく早く結論を出していきたい。</p> |
| <p>・農業振興について 有害鳥獣被害対策について、広域市町村連携ということで近隣市町村と接触していると思うが、より強固な策があると思っている。里山と平野の境の林道に、東は朝日町から西は氷見市まで、今後5カ年・10カ年計画で有刺鉄線で柵を作ってはどうか。予算的なこともあると思うが、長期的なことを考えて、市町村の役割を果たすべきだと思う。</p> | |
| <p>人・農地プランを精力的に推進している。健全な農業経営体ということで、昨今は農業の法人化を精力的に進めており、後押ししていることは誠にありがたいが、農業法人・農業経営体そのものの合併も視野に入れて、人・農地プランを推進していくこともより効果的だと思う。今後とも人・農地プランを強力に推し進め、市独自の政策の中にも入れていただければ、農業に活力が出てくると思う。</p> | <p>今ほどいろいろなご提案をいただいた。議員の中にも農業に携わる者がたくさんいる。今言われたことは、全て話題に出ていることである。産業建設常任委員会の所管であるが、特に有害鳥獣については、県と広域的な考えで取り組んでいかないといけないと考えている。いろいろなご提案をいただいたが、検討して応えていきたい。農業は非常に大切な産業だと思っており、環境問題にも取り組みながら、ご意見やご指導をいただきながら取組等を勉強させてほしい。</p> |
| <p>青年就農給付金ということで、準備型や経営開始型という制度がある。市に里親制度があっても良いのではないか。地域と一体になって、新規就農者・青年就農者を支援できる方法があるのではないか。</p> | |
| <p>本市もハトムギで成果を上げている。米を補完する野菜生産にも力を入れているが、首都圏の販路開拓ということからすれば、中間ストックのできる大型保冷庫を整備すれば、大規模園芸産地としての地位を確立できると思う。中期展望の中に大型保冷庫を整備することを要望する。</p> | |
| <p>・議会報告会の周知方法について 席が埋まっていないというのは、市議会に市民が興味がないということなのか。どういうお知らせの仕方をしたのか。</p> | <p>皆さんには足場の悪いところご来場いただいたが、人数が少なかったと思っている。広報の方法やいくつかの会場で開催するという方法、ステージと客席という形ではなく、膝をつき合わせて話すといういろいろな方法を考えながら、次回につなげていきたいと思っている。</p> |
| <p>・大型事業について アウトレットモールに38億円という大きいお金がかかけられている。その他に駅南、美術館、総合会館という話も聞いている。主婦としては、このお金は小矢部市にとってプラスになるのか。アウトレットに38億円、それに関係する補正予算が8,800万円であると、これで大丈夫なのか。そしてこれに4車線化のお金は含まれているのか。どのようにお金を落としてくれるか、どういうふうに関係する今後取り組んでいくのか教えてほしい。</p> | <p>アウトレットや駅周辺整備等に高額なお金がかかるというご指摘をいただいた。議員の中でもいろいろな議論がある。有効に返ってくるように、議会として、市の行政を見たいと思っている。駅周辺整備、公民館、総合会館等について、議論の最中であるので報告があればしていきたい。 一般国道8号について4車線化の拡幅工事を行っているが、一般国道の事業が国・県の事業になり、小矢部市の負担金はない。</p> |